

会 議 録

(敬称略)

会議の名称	令和6年度 第1回 茨木市駅前周辺整備基本計画協議会
開催日時	令和6年5月10日(金) 午後3時00分 開会 午後4時45分 閉会
開催場所	茨木市役所南館10階 大会議室
会 長	久 隆 浩
出席者	【公募市民】森川 孝子、五十川 進 【学識経験者】久 隆浩、塚口 博司、下村 泰彦、辻田 素子 【関係団体から推薦された者】 自治会関係者…大塚 康央、小河 尚司、岡村 美範 交通事業者…中嶋 和政、高岸 実良、野津 俊明(代理:北野)、 田邊 勝己、田中 弥(代理:北西)、居島 伸一 【15人】
欠席者	【関係団体から推薦された者】 経済団体…笹井 直木 【1人】
傍聴者	21人
事務局	足立副市長、福井都市整備部長、宮本市街地新生課長、藤後市街地新生課参事、辻井市街地新生課長代理兼市街地Aグループ長、吉備市街地新生課上席主幹、黒葛原市街地Bグループ長 【7人】
開催形態	公開
議題(案件)	議案審議 (1)前回協議会の振り返り (2)中心市街地全体における駅前周辺の特性・役割 (3)J R 茨木駅西口駅前周辺整備基本計画案骨子 (4)阪急茨木市駅西口駅前周辺整備基本計画案骨子
会議資料	(1)会議次第 (2)配席図 (3)委員名簿 (4)説明資料 (5)参考資料

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
足立副市長	1 開会 (あいさつ)
事務局	2 議案審議 (資料3にて説明)
	【各駅前の特色について】
大塚委員	J R 茨木駅前と阪急茨木市駅前について、資料からそれぞれの特色があまり感じられない。基本的には両駅前とも同じようなイメージでよい。
事務局	上位計画では各駅前に明確な特色はなく、どちらも都市拠点の位置づけであるが、前回及び今回の協議会において少しではあるが違いを説明した。各駅前の特色については、本協議会での意見を踏まえながら検討したい。
大塚委員	各駅前の違いについて、具体的に伺いたい。
事務局	阪急茨木市駅前は、多くの商店街や寺社仏閣、在郷町が周辺にあり、地域に根差した色合いが強い。J R 茨木駅前は、新大阪と繋がっており全国へのアクセスが良い点や万博エリアとの近さが特徴である。
大塚委員	立地環境が違うのは理解している。整備の方向性や考え方について、特色が感じられないので質問した。
久会長	資料3の2ページに広域的立地特性として交通ネットワークが示されているが、これがどのような形でJ R・阪急の2コアの方針として活かされているのかが見えない。さらに4ページで、それぞれのコアの方向性について書かれていれば分かりやすいのではないかと。そこから基本方針へうまく文章としてつながれば良いと思う。
	【タクシーの役割について】
居島委員	資料3の5ページ「茨木市総合交通戦略」には、「路線バスを利用して鉄道駅や商業施設へ」と記述されている。タクシーも公共交通機関と

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	考えているが、タクシーの役割はどのように考えているのか。
事務局	「人と公共交通が中心」という中にはタクシーも含んでいると認識している。
久会長	文言としてタクシーを記述した方が、誤解を招かないと思われる。さらに、これからはMaaS(※)の時代に突入していくが、そのネットワークの中にはタクシーも含まれていくと考えられる。また、レンタサイクルや駅レンタカーも駅前にあるので、茨木市ならではの公共交通ネットワークを上手く表現できると良いのではないかな。 ※MaaS (マース) …Mobility as a Service の略で、複数の公共交通やその他の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。
	【ソフト面の取組と広場について】
五十川委員	資料3の5ページで、機能として「魅力・賑わい」「都市機能」「交通機能」「安全・安心」の4つを挙げられており、その通りだと思う。特に、「魅力・賑わい」は市民の意見やイメージが大事だと考えている。茨木市は若者・学生の多いまちであるので、それぞれが自分らしく勉強・活動できる拠点として駅前があれば良いと思っている。全体の議論をする上で、もう少しソフト面を練った提案をしていくべきではないかな。
久会長	ソフト面を基本計画の段階で書くのか、次のステップで書くのかの整理であり、施設を作った後の導入機能をどのように考えていくかではないかな。
事務局	現在、阪急茨木市駅西口では権利者が具体的に建替えの検討を進めているが、JR茨木駅西口ではまちづくり協議会で議論をしているところである。今後、両駅前の進捗状況を踏まえながら、整理していきたい。
久会長	建物だけでなく公園広場も施設である。例えば資料3の8ページでは、JR茨木駅前に交流拠点を作るとあるが、誰がどの様に使うのかというレベルまで書いておいた方が良い。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	ソフト面の取組みについては、基本計画ですべてを書くのは難しいと考えており、一定の方向性までを定めたい。事業を推進していく中で、積み上げていきたいと思う。
久会長	公園広場については、使い方を想定しないとデザインできないと思う。方向性について、基本方針レベルで書いておくと次のステップに進みやすくなると思うので検討いただきたい。
下村委員	基本計画では、今後の基本設計やアクションプラン策定に向け、方向性を示しておく必要があると思う。ＪＲ側はソト向き、阪急側はウチ向きというような、地域特性に準じた形での駅前整備の方向性は決められつつある。次のステップになると思うが、現在の歩道幅員や公開空地、公共公益施設、公園緑地など、一般の方々が自由に利用できるような空間がネットワーク・連携されるイメージを描き、ウォークブルとはどういうことなのかということを整理しなければならないと思う。また、図に棒尺があるとスケール感が出るので記載した方がよい。
久会長	２コアで作られる広場の役割について、しっかりと共有できるように進める必要があるという意見だと思う。例えば、同時に複数の空間が使われる具体的なイメージとして、茨木音楽祭でそれぞれの空間をどう使い分けていくのかを見ていくと、関係性が見えてくるのではないか。そういう意味では、市街地の中で一番重要な位置づけになる空間が、茨木神社や茨木別院の境内で、そうした民有地でもしっかりとしたオープンスペースがあり、イベント等で活用されているところもあるので、同じような機能をそれぞれのコアに持たせてしまうと、非常にもったいないことになると思う。 【２コアの機能について】
森川委員	市民はイベントや公園を求めているが、日々の生活ではたまたま近い駅を利用しているだけで、特性を選択しているのではない。年に１～２回のイベントのためではなく、基本的な生活利便性向上の議論をしたい。そう考えると交通のことだと思っている。再開発となると、どこの駅前も同じようなことを言っているが、市民が求めているのは日常生活に合った再開発ではないか。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
大塚委員	必要な機能をどうするのかというところがベースにあって、その上でプラスαの機能を作っていくというような形で、全体イメージを示してほしい。防災や交通が基本にあり、その上で商業などの日常生活を支えるもの、そして魅力づけの話が出てくると考えている。防災や交通について、ＪＲと阪急で書き方が違うので、資料構成や内容の整理についても検討いただきたい。
久会長	資料３の７～８ページと９～１０ページについて、ＪＲと阪急のトーンを揃えて、中身の整合性を図っていただきたい。先ほどの意見であった「都市機能」「交通機能」「安全・安心」はベースにあるものなので、粛々とやってもらうところだと思う。そこに価値として作られるものが「魅力・賑わい」であるので、この部分の議論としてイベント・広場に対する意見であったが、日常生活に関する記述が無いわけでは無く、議論に上がって無かっただけである。また、「都市機能」「交通機能」「安全・安心」の方が「魅力・賑わい」よりも重要という話であれば、順番を変えた方が良いか。
辻田委員	総合計画で「時代の変化を見通した新しい産業をつくり育てる」という文言があった。産業の視点で言えば、ＪＲ駅前には可能性を持っていると思うが、将来の茨木市を支える新しい産業の芽をどう作るのかという話はあまり出てきていない。意見に出ている「魅力・にぎわい」は、多分それぞれ思っていることは全然違っていて、私は産業を重視したいが、「都市機能」「交通機能」「安全・安心」がベースで残った部分が「魅力・賑わい」なのか、将来ビジョンを１つ描いてバックキャスト（逆算）的な形で作っていくのか、そのあたりを皆さんの合意の上で進めていけたらと感じた。
久会長	少し別の角度からの整理になるが、絶対にやらなければいけない問題と、こうなったらいいよねというレベルの問題が同じところに並んでしまっている。先ほどからの意見は、最低限やらなければいけない点であるので、さらにこんな魅力的な空間がいいよねというような点は、上手く書き分けながら整理していただくと分かりやすいと思う。
下村委員	資料３の４ページは各駅前周辺整備基本計画の土地利用ゾーニングの前提になるものであるが、２コア１パーク以外についても具体的な広場・公園緑地等の状況を書くことで駅前周辺全体での将来イメージにつながると考えている。東西軸の計画をどうするのかは、周辺地域との関連性が非常に高く、どの様にウォーカブルなまちにしていくの

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	か、ここからどう落とし込むかを考えることである。もう1点、資料3の7ページの基本整備方針を具現化するため、都市計画部局だけでなく、他部局との連携も必要で、それは「短期的」「中期的」「長期的」というタイムスケジュールが絡んでくるので、この辺りをもう少し整理する必要がある。
久会長	資料3の3ページでは、中心市街地活性化基本計画等の上位計画についてしっかりと調査の上、方向性も書いている。今回、新しく総合交通戦略・景観計画・ストリートデザインガイドラインについて示されているが、同じように上位計画のどの部分を受けるのか、2コアを整備することによってどの部分がより実現に近づけるのか、というような関係性をしっかりと示していただきたい。
五十川委員	4つの機能の順番を入れ替えることや日常生活優先ということに全く異論はない。一方、この協議会の原点は、茨木のまちの特徴を活かして茨木らしいまちをつくるためとされている。茨木市自体のコンセプトというと、やはり若者・学生の多いまち。若者が元気というのは、持続可能なまちづくりそのものだと思う。日常の生活が第一ではあるが、若者・子どもが元気というような「魅力・にぎわい」というソフト面が分かりやすい提案としてあった方が良いと思う。
久会長	資料3の5ページの4つの機能の順番については、どちらが良いのか一概には言えないと個人的に思う。入れ替えた方がすっきり通るのか、あるいはこのままの方が良いのか、検討いただいて次回意見をいただきたいと思う。
【自動車交通の流入抑制について】	
塚口委員	資料3の4ページの左上「中心部では不要な自動車交通の流入は抑制され」との記載があるが、この計画では流入抑制が前提となっているのか。
久会長	都市計画マスタープランで示すように、具体的には茨木寝屋川線を整備し通過交通を流す計画が実現に近づき、中心市街地に流入する自動車が減るという前提ではないか。
事務局	将来の中心市街地のあるべき姿という形で書いている。都市計画マスタープランでも中央通り、東西通りを最終的に一方通行化し、歩行者

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
塚口委員	空間を広げる方向性であるが、検討段階であり具体的なことは全く決まっていない。市としては、人中心で歩いて楽しいまちなかづくりを目指し、流入抑制をしていきたいと考えている。 流入抑制策は、言葉での啓発から具体的な施設整備やルール化まである。2コア1パーク&モールのモールについて、流入抑制を前提に考えるのか、流入抑制は難しいという前提なのかで、最後のイメージが大きく変わってくると思う。もし、流入抑制を前提とするのであれば、その方法について多少追加していただいた方が良いと思う。 【これまでの事業経過について】
塚口委員	J Rと阪急で同じようなスタンス・構成で書こうとしているが、それぞれの熟度が違うため上手くいっていないと感じる。関係者と調整できる範囲でこれまでの経過を整理し、それぞれの整備方針等を示した方が良いと思う。
久会長	事業に関する部分になるが、可能な範囲で整理していただきたい。 【ウォーカブルな空間や動線の表現について】
大塚委員	J R側では、具体的な都市機能が書かれていないため、整備方針が分からない。また、交流拠点や商業についても、具体的なイメージが分からない。例えば、学生・若者が多いということであれば、若者の創業の場としての拠点を設け、活躍できる場をつくるということがアイデアレベルで考えられるのではないかと感じた。また、ウォーカブルに関して、中央通り、東西通りはもちろんだが、阪急側では商店街を歩いてもらわないといけない。商店街に人が集まり、まちの魅力を感じてもらいたい話があってしかるべきだと思う。動線としては書かれているがその説明も欲しい。
事務局	阪急本通商店街はすでにウォーカブルな空間が形成されていると考えており、商店街方向への動線は一番大事な点としている。その上で、中央通りへの動線は、駅前広場、人、公共交通中心で、車を完全には排除できないため、黄色で色分けした。両駅間を無理に歩いてもらうものでなく、各々の生活の中で歩いて楽しい、歩いてみよう、と思える範囲内で歩きやすい環境を中心市街地全体に作っていくことが大事なのではないかと考えている。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
久会長	その辺りが、資料としても分かる表現が欲しい。資料3の4ページで、2コア1パークを表現しようとしているが、それぞれのコアからの動線を書いた方が、全体のネットワークが分かりやすくなると感じた。そういう意味では、阪急側のコアから商店街へ抜ける表現もあって良いと思う。
大塚委員	11ページの土地利用ゾーニング図（阪急茨木市駅前）について、主要交通動線を青点線で表現しているようだが、病院北東の青点線は何を表しているのか。また、企業・学校送迎バスは西方向への発着が多いと思うが、東口の駅前広場を中心にとすると交差点処理が非常に難しいのではないか。
事務局	病院誘致に伴い道路改良も予定していることから、青点線で示した。現状、高瀬川通り（市道双葉町島一丁目線）が混雑しているが、交差点改良等による交通の円滑化を図った上で、適切な機能分担を目指すものである。
【関連事業等について】	
下村委員	空家等対策特別措置法に基づく対策や、教育施設・公園緑地の再配置・統廃合などの計画について、関係してくる可能性があるので教えてほしい。
事務局	中心市街地の空家の状況についてはあまり多くはないが、空店舗については中心市街地活性化基本計画でまちづくり会社と連携して取り組むと記載している。学校、公園等の統廃合計画はないが、市役所北側の福祉文化会館が閉館・解体され、公園として整備される予定である。
久会長	茨木市の中心市街地は空洞化していないが、社宅跡地などでマンション建設が進み、こども向けのオープンスペースが不足している傾向と感じる。そのあたりについても検討してもらいたい。
森川委員	自動車交通の流入抑制について、現状は大型車が駅前を通っており、現実感がない。また、店舗が閉店しマンションが次々と建設される現状を見たとき、協議会での意見がどこまで反映されるのか不安である。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	流入抑制については、広域幹線道路の整備が徐々に進んでいることから、中心市街地外側の道路網に関する分析等を行い、検討を進めていきたい。また、商店街やメインストリート沿道の建替えに関して、1階に店舗のないマンションが建築されていることは課題と認識しており、低層部に商業等の都市機能を誘導する施策の検討を進めたい。
久会長	核心をつくような意見をたくさんいただいたので、それを反映した分かりやすく、共有ができるような資料を作っていただきたい。
久会長	以上をもって、令和6年度第1回茨木市駅前周辺整備基本計画協議会を終了する。 以上。